



ふっごんなのみつけちた♪

埼玉で

第八回埼玉県障害者アート企画展

二〇一七年十一月六日(水) 十一月十日(日) 10時〜17時 会期中無休

主催：埼玉県障害者アートネットワーク「AMAP」の、社会福祉法人みめま福祉会 共催：埼玉県 後援(予定)：上尾市、春日部市、川口市、川越市、川島町、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、さいたま市、所沢市、戸田市、新座市、東松山市、三郷市、吉川市、嵐山町、JR東日本大宮支社 協力：埼玉県立近代美術館、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会、O.T.O. 助成：障害者芸術文化活動普及支援事業(厚生労働省補助事業) キュレーション：中津川浩章(アートディレクター) 平成二十九年度は障害者芸術文化活動普及支援事業として四つの展覧会を企画しています。その第三弾です。

埼玉県全域からアート関係者や福祉関係者がセレクトした九十七人のアーティスト、三百点以上の作品が埼玉県立近代美術館に展示されます。

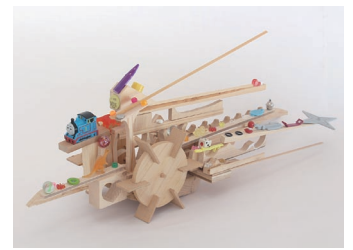




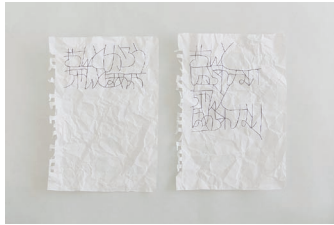
マスカラ・コントラ・マスカラ

埼玉県全域からアート関係者や福祉関係者がセレクトした97人のアーティスト、300点以上の作品が埼玉県立近代美術館に展示されます。

アートと福祉が交錯して浮かび上がってくる新しい視点、そして価値とは?埼玉県独自の取り組みから生まれた作品と作家たちの表現の広がり、深さ、笑いそして切実さは人の心を動かす大きな何かです。「うふっ♡埼玉でこんなのみつけちゃった♪」展は障害者そして社会にとってアートとは?表現とは?福祉とは?そんな問いを包括するアートと福祉を越境していきながら広がっていく展覧会です。



青木 悟



小林ちゃん

関連企画

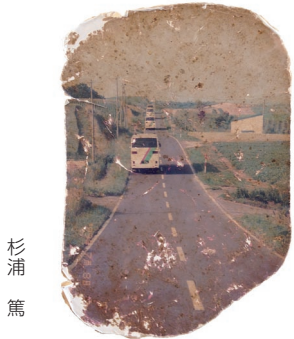
障害者芸術支援シンポジウム 「埼玉県の取り組みから考える」

埼玉県内の活動を中心に、美術、福祉、教育関係の専門家により、当事業を多角的に考察します。そして今後の活動の広がりを共に考えます。

12月9日[土] 10:00~16:00 参加費:無料

会場:埼玉県立近代美術館 講堂
定員:100名(事前申込/アートセンター集までお問い合わせください)

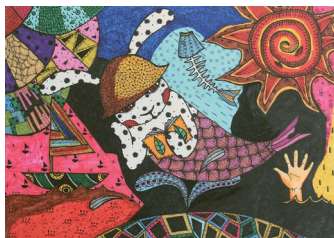
- 基調講演「好きと評価をめぐって」
前山裕司(埼玉県立近代美術館学芸員)
- 対談「重い障害のある人の表現とは」
中津川浩章(美術家、アートディレクター)、松本哲(みぬま福祉会総合施設長)
- 活動紹介「埼玉県内の施設間のつながり、広がり、深まり」
野本翔平(NPO法人CILひこうせん)、佐藤佳織(みぬま福祉会大宮太陽の家)、多田美奈子(埼玉県社会福祉事業団あけお)
- クロストーク「福祉、教育、美術など、様々な角度から見た障害のある人の表現の本質や展望」
小澤基弘(画家、埼玉大学教育学部教授)、酒井道久(彫刻家、埼玉県立大学名誉教授)、石平裕一(NPO法人かうんと5代表)、豊田亜紀(多機能型事業所わくくす)、モデレーター中津川浩章(美術家、アートディレクター)



杉浦 篤



三好 進



宮原 裕美



並木 信弘

ダンス公演 「あはっ★埼玉でこんなこともやっちゃった♪」

美術だけではなく可能性を発掘します。ベストプレイス主宰竹中幸子氏を講師に、ダンスワークショップを4回行い、ダンスを通して場と時間を共有した、その集大成を発表します。

12月10日[日] 12:30 開場 13:00 開演 入場料:無料

構成・振り付け:竹中幸子
出演:タマップダンサーズ、ベストプレイス
会場:埼玉県立近代美術館 講堂

イベント

来場者投票 「自分が気に入った作家は誰ですか?」

ご来場くださった方に投票していただき、上位10名の作家は次回展覧会で展示します。

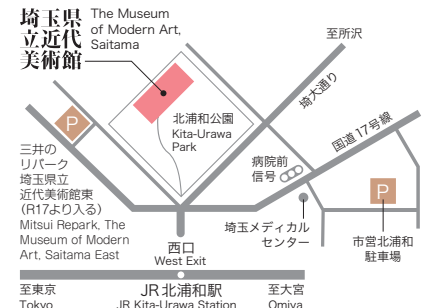


会場

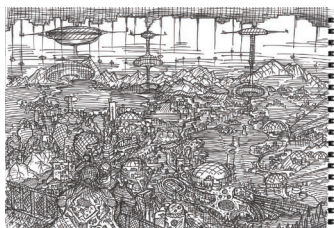
埼玉県立近代美術館一般展示室1(地下1階)

埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
Tel:048-824-0111

※JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)
※駐車スペースがないので、お車でお越しになる場合は予め周辺駐車場をご確認ください。



前田 聡男



高野 博史

お問い合わせ



アートセンター集(社会福祉法人みぬま福祉会 工房集内)

Tel:048-290-7355 Fax:048-290-7356

E-mail:kobo-syu@marble.ocn.ne.jp URL:http://artcenter-syu.com